



ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和7年（2025年）度9月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

2学期が始まります

・今年の夏もとても暑く、日中に外で遊ぶことはなかなかできなかったと思いますが、子どもたちはそれぞれに夏休みを満喫したことでしょう。さて、2学期が始まります。1学期を通して、本校の求める子ども像のうち、まずは「ひがとよ」のうち「よ」で始まる「よりよい人間関係を構築する子」についてがんばってほしいと、機会を見つけては子どもたちに伝えてきました。2学期も「ひがとよ」の「よ」につながる、あいさつや言葉を大切に、どの子にも居場所があり、みんなが安心してのびのび過ごせる学校づくりを進めていきたいと考えています。



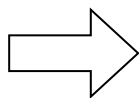
写真は、校長室前の廊下の壁に飾ってある「ひがとよバトン」です。今の6年生が、昨年度、6年生を送る会で作ってくれたものです。バトンのデザインは、子どもたちが考えてくれたと聞いています。校長先生は、子どもたちが代々受け継いでいくこのバトンの意味は、ひがとよの伝統、ひがとよの当たり前を受け継いでいくことだと思っています。2学期も、ひがとよの当たり前を子どもたちと一緒に作っていきたいです。

保護者の皆様には、お子様の食事や睡眠といった基本的な生活習慣、学習に必要な持ち物の準備等に留意いただくこと、お子様を励ましていただくことについて、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

ところで、夏休みの間に、一輪車の台を新しくしました。PTAの活動で集めていただいたベルマークを活用して購入したものです。以前のものは、上下2段で上の段が使



いにくく危なかったもので、1段のものを2つ買いました。お父さんの会に寄贈いただいた3台の一輪車を合わせて、合計



17台の一輪車が、きれいに置けるようになりました。子どもたちにたくさん使ってもらって楽しく遊んでほしいです。ベルマークを集める作業はとてもたいへんだったと思います。ご協力ありがとうございました。

夏休み中に実施した教職員研修について、少し紹介します。7月22日(火)には、集団づくり実践交流会として、先生たちが学級経営の取組みについて交流しました。その中で、子どもたちが当たり前でできていることをほめることや、「ありがとう」「どういたしまして」といった言葉を大切にしていること等が紹介されていました。また、朝の健康観察を集団づくりの機会として活用し、健康観察の結果をもとに、健康のためにクラスでできることはないか、子どもたちが考えていること等も紹介されていました。

<連絡やお願い>

・教育実習生1名を、9月29日(月)から10月27日(月)まで6年3組学級にて受け入れます。

・小学校スクールカウンセラー福嶋さんの次回派遣日は9月5日(金)、その次は10月3日(金)です。面談希望がありましたら担任あてお申し出ください。